

生態系保全農業特論 (2単位)

担当者氏名 宮浦理恵

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

本科目は、環境に負荷をかけず、経済的に実施可能で社会的な公正な農業の達成のために必要な基礎理論と世界の各地での実態を紹介する。授業では、食料生産の分野と流通・消費の分野に分け、将来の方向性を展望する。第1部の食料生産分野では、農業生態学を基礎として農業生態系のデザインと管理を世界各地の事例を取り上げて実証的に検証し、生態系保全農業の在り方を考察する。第2部の流通・消費分野では、生態学のみならず社会・経済学的視点も取り入れ、参加型・学際的研究のケーススタディを解析し、新たなシステムの方向性を描き出す。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

アグロエコロジー	持続的農業	有機農業	地域
食料生産システム	学際的研究	参加型研究	ケーススタディ

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	課題の設定	科目の目的と課題の設定	
2	第1部 食料生産分野	農業生態系の多様性と安定性	テキストに沿って授業を進める。毎回、予定する章を各自で予習すること。1人1~2章の担当を設け、その章についてプレゼンテーションを行う。担当箇所について教科書のほか関連文献を熟読し、内容についてわかりやすく発表すること。
3		生態系の再生プロセス	
4		農業生態系のデザインと管理	
5		慣行農業から生態系保全農業への転換	
6		農業における持続性の指標	
7		生態系保全農業から持続的食料生産システムへ	
8		第2部 流通・消費分野	
9	オーガニックビジネスと小規模有機農家		
10	食料保障・食料と健康		
11	社会的公正・公共政策		
12	事例分析1: 東南アジアにおける小規模農業		
13	事例分析2: CSA、ファーマーズマーケット、有機農業		
14	事例分析3: 日本における動向		
15	総括	総合討論	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所(発行年)

Agroecology: The Ecology of Sustainable Food Systems/S. R. Gliessman and E. W. Engles/CRC Press(2014)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所(発行年)

The Conversion to Sustainable Agriculture: Principles, Processes, and Practices (Advances in Agroecology)/S.R. Gliessman and M. Rosemeyer ed./CRC Press(2010)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

プレゼンテーション 50%, 試験 50%

◆オフィスアワー

火曜 4限

◆その他受講上の注意事項

授業は、受講者の言語能力に応じて日本語と英語のバイリンガルで行う。